

平成 30 年度 第 3 回仙台市環境審議会

議事要旨

日時：平成 30 年 11 月 15 日（木） 13:30～15:00

場所：仙台市役所 2 階 第一委員会室

I 次第

1 開 会

2 議事・報告事項

(1) 「杜の都環境プラン」 定量目標の進捗状況について

(2) 「杜の都環境プラン」 推進に向けた取り組みについて

3 その他

・地球温暖化対策検討部会の検討状況について

4 閉 会

II 出席委員数

出席 24 名

欠席 1 名

III 議事要旨 議事要旨

司会	議事・報告事項に移る。 以後の進行については、仙台市環境審議会の組織及び運営に関する規則第 5 条第 1 項に基づき、渡邊会長にお願いする。
議長（渡邊浩文会長）	初めに、会議の公開、それから議事録の署名の件について確認させていただく。 まず、会議の公開に関しては、個人のプライバシーに関する事など、非公開の必要のある場合以外は、原則として会議を公開するというにしている。 次に、議事録の署名については、会長と出席委員 1 名の署名をもって正式な議事録とすることとしている。今回は風間聡委員にお願いしたいが、よろしいか。
各委員	異議なし
議長（渡邊浩文会長）	それでは、風間委員にお願いする。 議事・報告事項に入る。 まず、(1) 「杜の都環境プラン」 定量目標の進捗状況について、事務局より説明をお願いする。
事務局（環境企画課長）	(資料 1-1、資料 1-2 に基づき、「杜の都環境プラン」 定量目標の進捗状況について説明)
議長（渡邊浩文会長）	ただいま事務局より、「杜の都環境プラン」 定量目標の進捗状況について説明い

文会長)	いただいた。皆様より質問や意見をお願いする。
渡辺博委員	<p>資料1-2の環境基準の達成状況のうち、騒音についてお尋ねする。新幹線鉄道及び自動車に関して基準を達成していないとあるが、仙台市内には貨物列車が走っている路線がある。周辺の方から、貨物列車が走る時の騒音について苦情があり、JR貨物に要望を出したという経過もある。この件については、特にこの場所では触れていないが、新幹線に対しては、基準を達成していない箇所があるという認識でこれから取り組んでいくものと期待するが、今後の取り組みについてお聞かせ願いたい。</p>
事務局（環境対策課長）	<p>まず、貨物列車の騒音の件では、貨物列車に対しては環境基準が設定されていないため、この中の評価には含まれていない。苦情対応については、個別に行うという形になる。</p> <p>それから、新幹線の環境基準の達成状況については、岩切や西中田は、非達成になっているが、これに対してはJR東日本に対し、宮城県が主催する東北新幹線鉄道騒音等対策会議の場で、音源対策を講じるように直接申し入れを行っている。また、東北・上越新幹線沿線の10県で構成する協議会の場では、県を通じて環境基準の早期達成に向けて申し入れを行っているところである。</p> <p>道路騒音に関しては、環境基準の評価というのは面的に評価する方法になっているが、4号線バイパス郡山付近で環境基準非達成となっている。これに関しては、排水性舗装により騒音は改善するが、4~5年で効果がだんだん薄れ、また騒音が上昇することがある。こうした道路については、道路管理者に直接、メンテナンス等について要望を行っている。</p>
渡辺博委員	<p>貨物列車については基準の対象外ということだが、日常の市民生活に影響があることは間違いないので、仙台市独自の取り組みが必要ではないかと考える。そういう取り組みを要望したい。</p> <p>新幹線については、やはり国レベルで要望していかななくてはいけないものと思うが、今後も解決に向けての努力を強めていただきたい。</p> <p>道路については、これもまた24時間生活にかかわることである。難しいことはわかるが、だからといって許されるわけではないので、さらに力を入れていただきたい。都市計画道路について、仙台市は大幅な見直しをしているが、まだまだ計画がある。宮沢根白石線の宮沢橋の架け替えがニュースになっていたが、この件はさらに問題になっていくと思うので、本格的に取り組んでいただきたいと思うが、いかがか。</p>
事務局（環境対策課長）	引き続き道路管理者に、住民等の要望も含めて申し入れを行いたいと考える。

永幡幸司副会長	騒音について引き続いて質問するが、資料1-1を見ると、「達成している場合にはより良好な状態を維持します」と書かれている。以前も話したと思うが、「より良好な状態にする」というのは、改善する方向に向かうということだと思うが、今達成しているところで、さらに改善したところというのは何カ所か認められるのか。
事務局（環境対策課長）	騒音に関しては、先ほど4号線バイパス郡山付近の排水性舗装のことを説明したが、これは平成19年度の測定レベルでは78デシベルから70デシベルまで改善されたものの、平成24年から少しずつ上昇してしまい、昨年では、75デシベルまで上がってしまった。現在の交通量もその要因にはあると思うが、排水性舗装も実施後の維持管理が非常に大事になってくるのがわかっているため、道路管理者に直接要望するという形で対応している。
永幡幸司副会長	騒音もその他の項目もだが、「非達成の場合にはできる限り速やかに達成し」、その続きが、「達成している場合にはより良好な状態を維持します」となっていることから、単純に達成したら、この数値目標が達成したということになるわけではなく、既に達成しているところに関しては、さらなる効果を上積みしないと、ここの目標を達成したことにはならないと考えられる。よって、文言から考えると、先ほどの説明は、後段に当たる部分の説明が何もなかったことから、この「達成している場合にはより良好な状態に保持」というところの文言に係るところは、どのようになっているのか、そこが知りたいというのが質問の趣旨である。
事務局（環境対策課長）	100%達成しているところについては、よりよく改善という方向になかなかいっていない。騒音においても、やはり年々改善されても上昇していくということがわかっている。その都度、状況の把握も含め、道路管理者に対し申し入れを行っているところである。
齋藤優子委員	資料1-2の温室効果ガス排出量の中で、引き続き熱エネルギーの有効活用を進めるというような記載があるが、具体的な既存の事例や新規で考えているものがあれば教えてほしい。
事務局（環境企画課長）	熱エネルギーの有効活用については、本市は準寒冷地に位置しており、給湯や暖房といった熱に関するエネルギー使用が大きいということがある。このため、熱に関する有効活用を進めるための、例えば窓の断熱改修であるとか、エネファームなどを導入される際に補助を行っている。こうした熱の有効活用に着目した省エネルギーというものを推し進めていくことを考えている。
齋藤優子委員	熱エネルギーを有効活用することの啓発も含めた取り組みと理解した。 日本の場合は、熱エネルギーの有効活用では、例えば廃熱利用等含め社会必要性の視点も重要だと思うので、そういったことも含めて本格的な取り組みをしていただければと思う。
菅井茂委員	窓断熱改修等に対して補助金を出すということだが、具体的に工事費の何%ぐらいが補助金になっているか。

事務局（環境企画課長）	<p>熱エネルギー有効活用支援補助に関しては、窓の断熱改修やエネファーム等々のさまざまなメニューがあり、それぞれによって補助が異なる。</p> <p>例えば、窓の断熱改修では、窓の具体的な断熱性能等によっても補助率が変わる。窓の断熱改修も含め、各メニューとも補助対象の10分の1程度以上の目安である。</p> <p>それから、熱エネルギー有効活用ということでエネファームに関しては、定額補助ということで1台あたり13万円の補助となっている。</p> <p>別途資料2で改めて補助制度について説明する。</p>
中静透副会長	<p>ごみの量が、震災以降ずっと減ってきたのが、ここ1、2年で下げ止まり、滞りを見せているというのは、何か理由を分析されているのか。</p>
事務局（廃棄物事業部参事兼廃棄物企画課長）	<p>まず、ごみの総量については、家庭と事業所から出たごみで、燃やすごみと紙類や缶・びん類のような資源物として収集したものを合計した量である。</p> <p>家庭から出たものも事業所から出たものも、平成28年度と比較すると増加しているおり、その原因については、詳しくはわからない状況である。</p> <p>本市の人口が増加傾向にあるということと、県内の経済活動は概ね高水準で推移しており、緩やかな回復基調にあるというような分析もあることから、そういったことが反映しているのかと考える。そのほか、今年4月に事業ごみの処理手数料を100キログラム当たり1,000円から1,500円に改定したので、それを見込んで駆け込みで清掃工場に搬入されたごみも多かったのかもしれないと考えている。</p> <p>なお、今年4月以降、事業ごみの量も家庭ごみの量も、昨年度よりも減少傾向にあり、総量自体としては9月末現在で約7,000トン減ってきている。</p>
議長（渡邊浩文会長）	<p>特に発言がなければ、続いて次の議事・報告事項に進めたいと思う。</p> <p>議事・報告事項（2）「杜の都環境プラン」推進に向けた取り組みについて、事務局より、ご説明をお願いします。</p>
事務局（環境企画課長）	<p>（資料2に基づき、「杜の都環境プラン」推進に向けた取り組みについて説明）</p>
議長（渡邊浩文会長）	<p>事務局より説明をいただいたが、皆様より質問や意見をお願いしたい。いかがか。</p>
渡辺博委員	<p>多岐にわたる活動をしているんだということがよくわかった。何点か伺う。</p> <p>1つは、シート1の補助実績に関してである。10月末時点で330、前年を上回るだろうという報告であったが、前年を上回るとなると、6カ月現在で330というのは予算は間に合うのかが気になるところである。間に合わなければ、予算内で打ち止めとなるのだろうが、来年度予算に対する取り組みも必要になってくると考える。その辺について話をいただきたい。</p>

	<p>次に、シート5のワケアップ! 仙台・ごみ減量キャラバンについて、クリーン仙台推進員の皆様方は、本当にご苦労されており、地域の環境美化に大変貢献されていて感謝をしているところである。私の知る地域では、児童にクリーン仙台推進員に準ずるようなユニフォームをつくり、一緒に点検をしているというところがある。</p> <p>ほかの事業も説明いただいたが、児童あるいは生徒、その年代に対する働きかけは必要だと思うし、このクリーンアップについても、宮城野地区の清水沼という町内会では、そのような取り組みをしている。その感想と今後の取り組みについてお聞かせいただきたい。</p> <p>それから、シート12のツキノワグマ、ニホンザル、イノシシ対策については、よくやっていると思う。手ごわいのはニホンザルで、なかなか知恵の回る集団で、手を焼くことがある。私も追いつけのときに、出発式に立ち会ったが、なかなか大変なことであると思う。その際にニホンジカが市内に顔を出したという話を猟友会の方からお聞きした。東北福祉大学のキャンパスの1つに雄ジカが顔を出し、猟友会が要請を受けて射殺したということだった。話を伺うと、雄ジカは偵察をして、安心と判断すると家族を呼び寄せる習性があるとのことである。そのニホンジカが市内にいよいよ繁殖をする、その予兆がもう起きていると、私は認識をしており、対策をそろそろ考えておかなければならないのではないかと思う。</p> <p>ニホンジカが悪いわけではないが、森林に対して大変な被害が起きるということは、周知のことであるため、事前対策の必要性を感じる立場から、その考えについてお聞かせいただきたい。</p>
議長（渡邊浩文会長）	大きく3点かと思う。いかがか。
事務局（環境企画課長）	<p>まず、第1点目の熱エネルギー有効活用支援補助金については、昨年度も好評で、多くの申し込みをいただき、今年度は予算を増額した経緯がある。年度の途中までは昨年度並みと見ていたが、寒さも厳しくなってきたというところで、ここに来てかなり申し込みもいただいているという状況である。</p> <p>補助金が間に合うのだろうかという心配をいただいたが、予算残額が100万円を切った段階で、抽選を行うシステムをとらせていただいているところである。</p> <p>たくさんの方にご利用いただいております、今後も制度の周知に努めてまいります。</p>
事務局（家庭ごみ減量課長）	<p>クリーン仙台推進員の件についての感想と今後の取り組みについて回答する。</p> <p>まず、紹介いただいた清水沼町内会の子供を巻き込んでのジュニアクリーンメイトのシステムだが、伺うところでは、2年に1度実施されているクリーン仙台推進員の年明けのフォーラムの中で、子供を巻き込んで環境美化の取り組みをしてみたいという町内会からの発言があり、平成29年度に実際に清水沼町内会で取り組まれたということであった。幼い頃から美化活動に関心を持ってもらい、地</p>

	<p>域をきれいする意識を持っていただく大変ありがたい制度だと思っている。</p> <p>年明けにも、クリーン仙台推進員のフォーラム開催を予定しており、その中でパネル等により町内会の独自のいろいろな取り組みの紹介をできればと思っている。</p> <p>集積所をきれいに保持することについては、どこも苦勞されているが、私が清水沼町内会の集積所を拝見した際には、子供の手書きのポスターが貼ってあり、きれいに使わなくてはいけないなど思ってもらえるような、こうした啓発は非常にありがたいと感じたところである。これに限らず、町内会単位の効果的で新しい取り組みは、活動の手引などで紹介し、他地域でも広がるよう努めていきたいと思っている。</p>
事務局（環境共生課長）	<p>今年度のニホンジカが目撃件数はまだ少なく、現時点で捕獲の事例はまだない。今年度から設立した鳥獣被害対策実施隊の活動にはニホンジカも対象となっており、こうした実施隊の活動の中で、被害拡大を防ぎ、適切な対策を進めていきたいと考えている。</p>
渡邊昭委員	<p>鳥獣被害対策実施隊の数と、捕獲対応について伺いたい。</p>
事務局（環境共生課長）	<p>鳥獣被害対策実施隊は5隊編成しており、87名の方に委嘱させていただいている。対象獣種はイノシシ、ニホンザル、ツキノワグマ、ニホンジカの4獣種で、活動内容は捕獲用のわなの見回りやわなに仕掛けたえさの補充のほか、緊急出動として、捕獲したイノシシの止め刺しや、ニホンザルの追い上げ等の活動に従事させていただいているところである。</p>
渡邊昭委員	<p>イノシシは繁殖し年々増えており、範囲も広がっている。箱わなを何個か設置しているが、効率が悪い。くくりわな等のほうが効果が上がるようなので、住民の方が被害にあわないよう、強力にやってもらいたいと思う。</p>
金野委員（後藤康宏委員代理）	<p>シート6の「モッタイナイ 108万人の紙類回収キャンペーン」について伺う。昔は子供会による古紙回収の活動があったが、最近少子化でそういったことがなくなってきた中、こうした取り組みは非常に大切だと思うが、このキャンペーンにはどのくらいのスーパーが参加し、実際、どのくらい紙が集まったのか教えていただきたい。また、今年1回限りなのか、今後も継続していく予定なのかについても教えていただきたい。</p> <p>もう1点が、せんだい環境学習館たまきさんサロンについてだが、今年度8月の利用者数について、これまでに比べて非常に多いが、何か特異な取り組みがあったのか。夏休みなので、それを利用して何かやられたのかと思うのだが、講座で子供たちが非常に喜んだテーマなどがあったら教えていただきたい。</p>

<p>事務局（家庭 ごみ減量課 長）</p>	<p>子ども会や町内会において町内の紙やびん、アルミ缶などを回収する資源回収は引き続き市内でも行っている。ただ、指摘があったとおり、少子化により子供会主体での実施は年々減少しており、代わって町内会が事業を引き継いでいるという状況がある。</p> <p>今春に行った紙類の回収キャンペーンの参加店舗数は21店舗、そのほか直接事業所に紙類をお持ちいただいたところが2カ所あり、21店舗で集めた紙類の合計は約650トンであった。</p> <p>このキャンペーンを行った経緯は、家庭ごみの中に含まれる雑紙等の資源物が多く、平成29年度は前年に比べて家庭ごみの量が増えそうだという見込みが出てきたため、少しでもごみ減量やリサイクルにつながればということで、急きょ実施したものである。</p> <p>今年度も実施するかについては、今後のごみ排出量の動向を見ながら、検討してまいりたい。</p>
<p>事務局（環境 共生課長）</p>	<p>たまきさんサロンの利用者数が今年8月に増加した要因としては、交通局で実施しているスタンプラリーとのタイアップがある。夏休みの宿題に向いているようなサロン講座を企画し、スタンプラリーのスタンプを押しにくるタイミングで、こうした講座にも参加していただいた効果もあり、夏に利用者が急増したと思われる。</p>
<p>大越和加委員</p>	<p>日々、大学生と一緒にいるが、節電のほか、ごみを減らさない、物は大切にしないと助言しても、ほとんど効果がなく、実際は私が一人で各部屋の電気を消したりエアコンの温度を低めに設定したりしている。</p> <p>既に大学生のレベルでは、省エネや物を大切にするという、そういう習慣が身についていないように感じており、大学生より小さい頃からそういう習慣化をしておくことが、より効果的だと思っている。</p> <p>低炭素都市づくりとか、資源循環都市づくりの取り組みは、小さい子供を持つ家庭であるとか、小学校などへの働きかけがより有効であると感じているので、そこも十分意識しながら取り組んでいただけると大変うれしく思う。</p>
<p>事務局（環境 共生課長）</p>	<p>学校に出向く環境教育や、小学生向けのサロン講座において、エネルギー等の講座があり、その中で節電などの身近なところで取り組める対策について話をしているが、これからも引き続き進めていきたいと考えている。</p>
<p>事務局（環境 局次長兼環境 部長）</p>	<p>仙台市には市内に清掃工場やリサイクル施設があるが、こうした施設を回りながらごみ減量リサイクルについて学ぶ小学校4年生の社会科のカリキュラムがあり、ほぼ全ての小学校で実施されている。そういう意味では仙台市はフィールド的にも恵まれており、小学生の段階で、ごみ減量リサイクルについて学校教育の中でもしっかり取り組まれているので、それに対し我々も十分協力しながら、引き続き取り組んでいきたいと考えている。</p>

議長（渡邊浩文会長）	<p>恐らく中学生とか高校生ぐらいで、そうした意識が変わってきてしまうのかなという感じも、私も大学にいる者として感じているところである。</p>
菅井茂委員	<p>緑のカーテンの設置状況について、平成 28 年度に取り組んだ小学校はその後ずっと続いているのかと、中学校でこうした取り組みが全然無いというのは、どのようにお考えか、お聞きしたい。</p> <p>また、ごみ減量キャラバンということで、ごみの分別調査に私も立ち会っているのだが、調査時間とごみ収集の時間帯がかなり違うということがある。そのため、調査している時間帯にはごみが出されず、我々が去った後、ごみ収集車が来る直前に出されるということがあるので、調査方法を今後どうするべきか、考えをお聞かせいただきたい。</p> <p>それから、アレマキャンペーンとは、実施した場所と時期はいつか。市内いろいろなところでやっているものなのか。ついこの間、広瀬川でごみを拾っているグループがいたのだが、それがこの活動なのかも教えていただければと思う。</p> <p>最後に、先週、福島市の町内会連合会と交流した際に、仙台市は緑が多くて良いとか、街の中に枯れ葉が溜まっていなくて良い、という話をいただき、仙台の街のすばらしさを学んでいかなければならないと福島の方から話があった。</p> <p>さらに、仙台市は歴史的、文化的なものを非常に大切にしているので、その取り組みを教えてほしいという話もあり、市民局に説明してもらったのだが、こうした市外から来た人に良いところだな、と認めていただけるということ、我々は誇りにして、この環境審議会も進めていけたらなと思っている。</p>
事務局（環境共生課長）	<p>緑のカーテンについては、小学校を通じて平成 28 年から 3 カ年の計画で実施している。種を植え芽が出たら、縄を屋上から引っ張りカーテン状のようにし、緑のカーテンの蒸散作用などの効果を環境教育の観点で学んでいただいている。こうした観点で学ぶ年齢というのは、おおよそ小学 3、4 年生が一番合致していることから、小学校を通じてモデル事業を展開している。</p> <p>実施した学校からは、すごく良い取り組みだったということで、引き続き取り組んでいただいているが、中学校にはこうしたカリキュラムがないというのが現状で、小学校でモデル事業を展開しているところである。</p>
事務局（家庭ごみ減量課長）	<p>ワケアップ！仙台・ごみ減量キャラバンとアレマキャンペーンについてご説明する。</p> <p>今回、報告した内容は平成 29 年度に実施したワケアップ！仙台・ごみ減量キャラバンという事業だが、このほかに、クリーン仙台推進員の皆様には毎年ごみの集積所の調査にご協力いただいております、大変感謝しています。</p> <p>収集ルートの関係から、ごみ収集車が来る時間帯が町内会によって異なるが、この調査では、収集車が来るまで推進員がついていなければならない、ということまでを求めるものではない。集積所への家庭ごみの排出は、原則として朝の</p>

	<p>8時半までということで、さまざまな媒体で案内している。調査にあたっては、8時から8時半までの間に、その町内の集積所に何個ごみ袋が排出され、どのような内容であったかを調査したら、まだごみを排出していない家があったとしても、そこで区切りをつけていただいで構わない。</p> <p>なお、このキャラバンについては、平成29年度は集積所511カ所の調査に市職員368名も同行して調査をさせていただいたが、市職員からも、集積所の管理等について、地域で非常に苦労されているということがわかってよかったという意見もあったところである。</p> <p>アレマキャンペーンについては、「ごみゼロ」の語呂に合わせた5月30日の春のキャンペーンと、11月第1週の秋のキャンペーンをキックオフイベントとして市中心部で実施した後、自宅付近や会社付近など、各地域において清掃活動を実施いただいているものである。1週間前に広瀬川で清掃活動をしていたという方々については、アレマ隊として活動いただいたとも考えられるが、このキャンペーンとは別に、自主的に清掃活動を行っているグループもある。市ホームページなどでも、各地の環境美化活動の予定をご案内している。</p>
議長（渡邊浩文会長）	<p>菅井委員が最後に話された誇りという点については、私も最近感じることもあり、大阪で環境関係のNPO活動を行っている方とお話しした際、大阪では維持管理が大変ということで住民から街路樹を伐採してしまおうという話が出たりするのだが、仙台ではどうかと聞かれたことがある。大気汚染物質が滞留してしまうからという理由で伐採を勧める大学教授はいるが、市民レベルでは聞いたことがないという話をして、仙台はすばらしいと言われたことがあった。</p>
渡辺博委員	<p>多言語ごみ排出ルールDVDは、今年10月にスタートした最新の取り組みで、ユーチューブでも見られるという大変すぐれものである。主に大学の留学生がこのDVDの対象になっていると認識しているが、大学の先生がたくさんいらっしゃるこの場で、これをよく知っていただいて、各大学で周知をしていただくことは有意義なことではないかと思う。</p>
事務局（家庭ごみ減量課長）	<p>最近、市内では外国人の方が非常に増えており、中国人は約4,000人、韓国人は約2,000人、そしていま非常に多いのがベトナムとネパールで、ベトナム人は約1,600人、ネパール人は約1,200人という状況である。多くの方たちは留学生として国立大学や私立大学、日本語学校に通っている。</p> <p>そうした方々は、学生寮ではなく自身でアパートを借りた際に、ごみの出し方がわからないということがあって、町内会からも、外国人の方がごみを出す曜日を間違えていたり、指定ではないごみ袋を使用しているという相談がくることがあった。そこで、日本語学校にお邪魔してお話をお聞きしたところ、外国人の方の中には、日本のように「ごみは分別して袋に入れるもの」とか、「ごみになるも</p>

	<p>のと資源物を分ける」という概念がそもそも無い地域からきている人もいるということだった。</p> <p>今回作成したDVDは、ごみを袋に入れる、曜日を守る、決められた集積所に出すといった、基本中の基本であるルールをわかりやすく解説したものとなっている。</p> <p>大学や短期大学、日本語学校にDVDをお配りしたほか、せんだいTubeというユーチューブにも動画をアップしており、スマートフォンなどをお持ちの学生であれば、見るができる。また、学校だけではなく、不動産関係の業者にも今後アプローチし、入居予定の外国人の方がいたらこの動画を紹介していただけるよう進めているところである。また、今後、ほかの国籍の方が出てくるようなことがあれば、対応できる啓発を考えていきたいと思っている。</p>
議長（渡邊浩文会長）	<p>議事・報告事項については以上とする。次に、「その他」に進む。</p> <p>前回の審議会にて設置した地球温暖化対策の検討部会については、私から部会の委員を指名し、当日欠席されていたため会長預かりとなっていた風間委員と緑上委員についても、部会の委員就任についてご快諾をいただいた。</p> <p>検討部会については、これまで既に2回ほど開催されたと伺っている。部会での検討状況等について、部会長の駒井委員からご報告いただければと思う。</p>
駒井武委員	（資料3に基づき、地球温暖化対策検討部会における検討状況について説明）
議長（渡邊浩文会長）	では、皆様から質問や意見があればお願いします。
中静透副会長	<p>非常に大事な条例を頑張ってください大変ありがたいと思っている。</p> <p>その上で、これは要望になるが、この対策の条例の中にはいわゆるミチゲーション（緩和策）の部分はかなり入っているように思うのだが、もう少し適応策についても考えていただいたほうがよいと感じた。</p>
渡辺博委員	<p>中間案が出た後で、また議論になるのだろうと思うが、字義の確認をしたい。</p> <p>条例の目的の中の「市民及び滞在者」という言葉について、ここでいう市民は仙台市民だろうと思うが、滞在者の定義はどのようにお考えになっているか。</p>
事務局（環境企画課長）	<p>滞在者については、旅行者の方など、仙台を訪れたり、滞在されたりする方ということで検討いただいた。</p> <p>他都市でも、滞在者という文言を条例に入れている例や、本市が交流人口拡大の施策に注力して取り組んでいるということも踏まえた上で、どのように記載するか検討していただいた結果、今後、交流人口が増大していくことも考慮すると、滞在者という文言も入れたほうが良いのではないかという議論をいただいたところである。</p>
木坂理絵委員	<p>中間案は条例のたたき台の形で出ることかということと、検討部会においては既に条例の形での文言を見ながら議論されているのか、具体的な議論の仕方をお聞きしたい。</p>

事務局（環境局次長兼環境部長）	具体的な条例の文言で議論しているわけではなく、事務局が出した考え方と骨子のたたき台を整理している段階である。先程の条例の目的のところは、中心部分であるため、1つ1つ書き込むべき内容を議論している。他項目については、どのような背景や考え方からどのような形で盛り込むべきかということ、メリット・デメリットを比較衡量しながら、さまざまなパターンを事務局から提示させていただき、整理しているところである。
木坂理絵委員	中間案はどのような形で出るのか。
事務局（環境局次長兼環境部長）	部会長とのご相談にはなるが、具体的な条文というよりは、条例に盛り込むべき考え方や内容のまとめとなる。部会長よろしいか。
駒井武委員	それで結構と思う。我々は法律が専門ではないので、考え方が中心になる。ただ、部会で提示した内容については、条例及びアクションプログラムの中に確実に入ることを、ぜひ考えていただきたいということでもよろしくお願ひしたい。
木坂理絵委員	検討部会で使われた資料は、検討部会のみなのか。審議会委員はどこかで閲覧が可能なのか。
事務局（環境局次長兼環境部長）	検討部会の資料は市ホームページにすべてアップしている。
議長（渡邊浩文会長）	事務局から連絡事項等々はあるか。
事務局	今後の審議会の日程について、地球温暖化対策検討部会の今後の審議状況によるが、次回は来年の1月中旬を予定している。日程については、詳細が決まり次第改めて案内する。
議長（渡邊浩文会長）	それでは、以上で本日の環境審議会の議事を終了する。 審議の円滑な運営にご協力いただき感謝する。

平成31年 1月 16日

仙台市環境審議会会長

氏名 渡邊 浩文

仙台市環境審議会委員

氏名 風間 飛